

3. 事業の概要

(1) 組合の事業活動の概要に関する事項

日本経済は、米国のサブプライムローンに端を発したリーマンショックは、100年に一度と言われる未曾有の世界的な金融危機により、世界景気の減速に加え、原材料の高騰、急激な円高、株安などで、自動車を始めとする輸出産業が大きく減退し企業業績は悪化しており、その影響は当初予想をはるかに超え深刻な状況下にあります。

また、消費者ニーズが食の安全・安心志向に高まり、国産農産物への関心が高まる中で、中国製の冷凍ギョーザ・インゲンによる中毒事件、うなぎの産地偽装、乳製品への有害物質混入問題、およびカビ毒や残留農薬に汚染された「事故米」の食用への転売などにより、消費者の食品に対する不信感が高まる問題が多発する中で、「食」への信頼回復に向けた安全・安心確保対策を強化する動きが広まってきました。

また農業をめぐる情勢では、燃油・飼料用穀物価格高騰及び農業生産資材価格が上昇し、中でも、肥料価格高騰については、食料需給の逼迫により、各国が自国の農業生産に必要な肥料原料の確保を優先したことによる肥料需要の増大と、一部輸出国の輸出制限により史上最高水準まで高騰し、農業経営を非常に圧迫しました。このような中であって、20年産水稻の全国の作況指数は「102のやや良」で、主食用収穫量は、866万トンで需要見込み量の855万トンを11万トン上回りました。全国的に好天に恵まれ、7年ぶりの豊作にあたる「やや良」となり、蒲生地域の作況指数も全国と同じ「102」となりました。10a当たり収量は536kg、収穫量は4,270トンで、前年産に比べ僅かではありますが増加しました。

こうした状況の中、平成20年度は役員改選が行われ新役員体制で、「私たちは【誠心】【誠意】を信条に、時代を見据えた協同活動を展開し、着実に豊かな地域社会づくりをリードします」を経営理念に掲げ、JAの経営ビジョンとして『誇りと信頼度No.1』を合言葉に、組合員皆様の負託に答えるべき事業運営を行いました結果、経常利益35,493千円、昨年対比154.9%の成績を挙げさせていただきました。組合員皆様のご協力ご指導の賜物と厚く感謝申し上げます。

以下、各部門別に事業活動の概略のみ御報告申し上げます。

(2) 主な事業実績等の推移

(単位 : 千円)

区分	項目	19年度	20年度(当期)
財 務	事業利益	15,369	31,255
	経常利益	22,910	35,493
	当期剰余金	14,248	12,079
	総資産	24,637,262	25,212,631
信用事業	貯金	21,889,363	22,428,407
	預金	17,308,571	17,320,731
	貸出金	4,990,410	5,504,113
	有価証券	1,050,074	1,167,293
	(国債)	0	0
	(その他)	1,050,074	1,167,293
共済事業	長期共済保有	105,415,000	101,118,340
	短期共済新契	158,932	151,284
購買事業	購買品供給高	830,840	796,980
販売事業	販売品取扱高	568,926	756,912

(3) 貸借対照表・損益計算書(平成20年度)

・貸借対照表

(単位 : 千円)

科 目	19年度 (平成20年3月31日)	20年度 (平成21年3月31日)
(資産の部)		
1 信用事業資産	23,435,426	24,090,557
2 共済事業資産	12,086	9,558
3 経済事業資産	176,772	180,968
4 雑資産	7,478	6,039
5 固定資産	725,660	642,039
6 外部出資	271,054	280,008
7 繰延資産		
8 繰延税金資産	8,783	3,459
資産合計	24,637,262	25,212,631

(単位：千円)

科 目	19年度 (平成20年3月31日)	20年度 (平成21年3月31日)
(負 債 の 部)		
1 信用事業負債	22,047,531	22,582,153
2 共済事業負債	180,594	194,163
3 経済事業負債	100,056	122,974
4 設備借入金	164,696	152,932
5 雑負債	48,552	60,957
6 諸引当金	237,299	234,849
7 繰延税金負債		
負債合計	22,778,729	23,348,032

科 目	19年度 (平成20年3月31日)	20年度 (平成21年3月31日)
(純 資 産 の 部)		
1 組合員資本	1,832,947	1,837,211
(1) 出資金	370,230	374,387
(2) 回転出資金	31,761	31,752
(3) 資本準備金	332	332
(4) 利益剰余金	1,431,192	1,431,331
利益準備金	524,000	544,000
その他利益剰余金	907,192	887,331
目的積立金	366,450	328,250
特別積立金	450,000	450,000
当期末処分剰余金	90,742	109,081
(うち当期剰余金)	14,248	12,079
(5) 処分未済持分	△ 568	△ 592
2 評価・換算差額分等	25,585	27,387
(1) その他有価証券評価差額金	25,585	27,387
純資産合計	1,858,533	1,864,599
負債及び純資産合計	24,637,262	25,212,631

・損益計算書

(単位：千円)

科 目	19年度	20年度
	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
1 事業総利益	563,880	551,171
(1) 信用事業収益	301,839	307,540
(2) 信用事業費用	83,491	103,599
信用事業総利益	218,347	203,940
(3) 共済事業収益	165,884	161,152
(4) 共済事業費用	9,963	9,573
共済事業総利益	155,921	151,579
(5) 購買事業収益	849,245	818,109
(6) 購買事業費用	748,552	715,329
購買事業総利益	100,692	102,780
(7) 販売事業収益	29,468	42,087
(8) 販売事業費用	3,906	3,598
販売事業総利益	25,562	38,488
(9) 農業倉庫事業収益	13,207	16,539
(10) 農業倉庫事業費用	6,358	6,629
農業倉庫事業総利益	6,849	9,910
(11) 加工事業収益	2,761	2,915
(12) 加工事業費用	2,241	2,075
加工事業総利益	520	839
(13) 利用事業収益	107,500	104,556
(14) 利用事業費用	47,511	58,728
利用事業総利益	59,989	45,827
(15) その他事業収益	7,710	8,939
(16) その他事業費用	7,372	7,689
その他事業総利益	338	1,250
(17) 指導事業収入	8,103	7,724
(18) 指導事業支出	12,445	11,169
指導事業収支差額	△ 4,342	△ 3,445
2 事業管理費	548,511	519,915
事業利益	15,369	31,255

科 目	19年度	20年度
	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
3 事業外収益	10,885	12,216
4 事業外費用	3,344	7,977
経 常 利 益	22,910	35,493
5 特別利益	8,490	9,217
6 特別損失	5,295	13,251
税引前当期純利益	26,105	31,460
法人税、住民税及び事業税	4,402	17,000
過年度法人税、住民税及び事業税	△ 792	△ 2,165
法人税等調整額	8,246	4,546
当期剰余金	14,248	12,079
前期繰越剰余金	62,577	84,885
目的積立金取崩額	13,916	12,115
当期末処分剰余金	90,742	109,081